



2018年度 国家公務員総合職合格コース 理系M0・M1対象短期パック

BKC
技術系

半年間で国家公務員総合職（工学区分）合格を目指す！

●国家公務員総合職とは？

国の中央省庁の幹部（キャリア）として、社会・経済・国際関係・科学技術など、様々な分野において政策を立案・企画し、日本を動かす仕事に携わることができるのが「国家公務員総合職」です。入省数年目から責任のある仕事を任せられ、各政策分野のスペシャリストになると同時に、幅広い視野と深い思考力を持ったジェネラリストとしての活躍が求められます。

●技術力・専門性を活かしてクリエイティブに働く！

近年、食の安全や環境問題など国民の生活に関わる課題が山積しており、また科学技術をめぐる国際競争の激化を受け、最先端の技術革新に向けた政策対応など、新たな課題が日々生まれています。これらに対して、**技術的なアプローチで解決をすることが技術系公務員の仕事**です。技術系公務員は、仕事の内容や職種も多種多様、多くの選択肢の中から自分にあった仕事を選択することができます。

●「理系M0・M1 対象短期パック」のポイント

- Point① 大学院における研究活動等に配慮し、短期間で学習科目を厳選して合格力を養成します。
- Point② 少人数制できめ細やかに指導を行っていきます。
- Point③ インプット学習に加えて過去問演習によるアウトプット学習を重点的に行います。
- Point④ 受講生専用、専任講師による学習相談会を設け、学習のフォローを行います。

※このコースでは、国家公務員総合職試験のうち、「工学」の区分を対象に開講します。他の試験区分での受験を希望する方は、別途対策が必要となりますので、エクステンションセンターにご相談ください。

※このコースは正課の専門を十分に学習してきた方を対象とした最少パックの講座です。

5月より開講されている通常の公務員講座もありますので、学習計画に合わせて選択をしてください。

こんな人にオススメ！

- ①国家公務員総合職試験（工学区分）受験志望者
- ②短期間で効率良く学習したい方
- ③正課の中で学科の専門をある程度修得してきている方
- ④自学自習を行うことができる方
- ⑤過年度の公務員講座受講経験者

対象

本学の理工学研究科、情報理工学研究科、生命科学研究科の大学院生。または、同研究科に進学予定の本学学部4回生で、2019年度国家公務員総合職（※工学区分）受験予定の者
※土木、建築、電気、機械、情報、化学など対象

開講期間：2018年10月17日（水）～ 2019年4月

受講料：全科目一括：53,000円（土木のみ54,060円）

講座ガイダンス

- 9/27（木）会場：CⅡ603
16:00-17:30(M0対象)/18:00-19:30(M1対象)
- 10/5（金）会場：F105
16:00-17:30(M1対象)/18:00-19:30(M0対象)

※受講料が減免になる特別奨励生制度もあります！詳しくは本紙P9および別途「特別奨励生要項」を確認のこと。

※地方公務員上級職や国家公務員一般職など、他の職種を併願するため本コースにない科目の学習を必要とする方は、「地方上級・国家公務員一般職合格コース」の当該科目を別途受講してください。

※工学の基礎を除く各専門科目は含まれておりません（但し、2017年度の専門科目WEB講座を無料視聴できます）。

※受講料にはテキスト代は含まれていません。別途各自で購入していただきます。

申込期間：2018年9月20日（木）～ 2018年10月17日（水）※最終日は17:00まで

※上記の期間を過ぎて受講を希望する場合、窓口でご相談ください

立命館大学エクステンションセンター

問い合わせ先：BKCキャリアセンター

【BKC/プリズムハウス2F】TEL：077-561-3942

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1

2018年9月20日版

国家公務員総合職試験について

■国家公務員総合職試験の制度

- 国家公務員総合職試験は、政策の企画立案等の高度な知識、技術または経験等を必要とする業務に従事する職員の採用試験です。
- 国家公務員総合職試験は、「院卒者試験」と「大卒程度試験」に分けられ、技術系では、それぞれの試験において、以下の区分から選択して受験することができます。

試験種	区分
院卒者試験／大卒程度試験	工学／化学・生物・薬学／数理科学・物理・地球科学 など

※BKC 技術系国家公務員総合職合格コースは、大卒程度及び院卒者試験の「工学区分」の試験に対応しています。その他の試験区分での受験を希望する方は、別途対策が必要となりますので、エクステンションセンターにご相談ください。

■国家公務員総合職試験の選考プロセス

- 国家公務員総合職試験は、人事院主催の1次試験（筆記）、2次試験（筆記・面接）が課され、それらを通過すると「最終合格」となり、「採用候補者名簿」に登録されます。
- 「最終合格＝採用内定」ではありません。合格後に希望する省庁を訪問し、面接やグループディスカッションなどの選考を繰り返す「官庁訪問」において、内々定を得る必要があります。
- 「採用候補者名簿」は3年間有効で、これを利用すると、大学4回生時に合格し、大学院に進学後、M2回生の際に官庁訪問することも可能となります（この制度を「提示延期」といいます）。

（参考 2018年度日程）

1次試験	筆記	基礎能力試験・専門択一試験	4月下旬
2次試験	筆記	政策論文試験(※)・専門記述試験	5月下旬
	人物	個別面接(人事院面接)	5月下旬～6月中旬
最終合格			6月下旬～7月上旬
官庁訪問			7月上旬～中旬
内々定			7月中旬

※院卒区分においては政策論文試験に代えて政策課題討議が課される

■「国家公務員総合職」と「国家公務員一般職」の違い

同じ国家公務員でも、「総合職」と「一般職」では、試験の形態に大きな差があります。

- 総合職は将来の幹部候補生として、政策の企画・立案など重要なポストに就く人材として採用され、他省庁への出向や国際交渉など様々な経験を通じて本省庁の幹部となることが期待されるのに対し、一般職は、国の施策の実施や施設・設備の設計・施工などの実務面を技術者としてサポートする一般職員として採用され、将来的には国の出先機関の責任者になることが期待されます。
- 総合職試験では「大卒程度～大学院卒」を、一般職試験は「高卒程度～大卒程度」を対象に試験を実施します。
- 総合職試験は一般職試験に比べて、高いレベルの知識・思考力が必要とされる問題が出題されます。
- 総合職試験では、一般職試験にはない「政策論文試験（大卒程度試験）」や「政策課題討議試験（院卒者試験）」が出題されるなど試験内容にも違いがあります。

■英語スコアへの加点制度

国家公務員総合職試験においては、TOEIC®テスト等の外部試験のスコアにより、最終合格決定の際に15点または25点が加算されます。詳細は人事院のホームページを確認してください。

※加点対象となるのは公開テストの結果のみです（学内一斉受験の結果は対象になりません）

TOEFL iBT®テスト	TOEIC®テスト	IELTS	英検	加点
65以上	600以上	5.5以上	—	15点加点
80以上	730以上	6.5以上	準1級以上	25点加点

※TOEIC®およびTOEFL®はEducational Testing Service (ETS)の登録商標です。

※L&RはLISTENING AND READINGの短縮形です。

【国家公務員総合職試験の概要】※「国家公務員総合職合格コース（理系 MO・M1 対象短期パック）」対象区分のみ掲載

院卒者試験					
試験	試験種目	解答時間	解答題数	配点比率	内容
一次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	2h20m	30	2/15	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野24問(文章理解⑧、判断・数的推理(資料解釈含む)⑩) 知識分野6問(自然・人文・社会(時事含む)⑥)
	専門試験 (多肢選択式)	3h30m	40	3/15	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験 別表「専門試験出題分野および出題数」を参照のこと
二次試験	専門試験 (記述式)	3h30m	2	5/15	
	政策課題討議試験	1h30m程度	1	2/15	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力等についての試験(資料の中に英文によるものを含む) 6人1組のグループを基本として実施 レジュメ作成(25分)→個別発表(1人当たり3分)→グループ討議(30分) →討議を踏まえて考えたことを個別発表(1人当たり2分)
	人物試験	-	-	3/15	人柄、対人的能力などについての個別面接
大卒程度試験					
試験	試験種目	解答時間	解答題数	配点比率	内容・出題科目等
一次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	3h	40	2/15	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野27問(文章理解①、判断・数的推理(資料解釈含む)⑩) 知識分野13問(自然・人文・社会(時事含む)⑬)
	専門試験 (多肢選択式)	3h30m	40	3/15	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験 別表「専門試験出題分野および出題数」を参照のこと
二次試験	専門試験 (記述式)	3h30m	2	5/15	
	政策論文試験	2h	1	2/15	政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力および思考力についての筆記試験(資料の中に英文によるもの含む)
	人物試験	-	-	3/15	人柄、対人的能力などについての個別面接

【国家公務員総合職 試験区分別出題科目（専門試験(択一式)）】

試験区分	専門試験(多肢選択式)	専門試験(記述式)
工学	<p>165題出題 40題解答</p> <p>必須問題 工学に関する基礎(数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的手法の応用能力を問うもの等)の計20題</p> <p>選択問題 次の29科目(各5題)から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30題のうちから任意の計20題解答</p> <p>1. 技術論(技術の歴史、技術と社会との関連等)、 2. 基礎化学、3. 工学基礎実験、4. 情報基礎、 5. 電気工学、6. 電磁気学、7. 材料力学(機械系)、 8. 流体力学(機械系)、 9. 構造力学(土木)・土木材料・土木施工、 10. 土質力学・水理学、11. 環境工学(土木)・衛生工学、 12. 構造力学(建築)、13. 建築構造・建築材料・建築施工、 14. 計測工学・制御工学、15. 情報工学(ハードウェア)、 16. 情報工学(ソフトウェア)、17. 電子工学、 18. 通信工学、19. 機械力学、 20. 熱力学・熱機関(機械系)、21. 土木計画、 22. 建築計画・建築法規・建築設備、23. 建築史・都市計画、 24. 材料工学[材料科学](材料物理、材料化学)、 25. 材料工学(金属材料・無機材料)、 26. 原子力工学(原子核・放射線)、 27. 原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)、 28. 船舶海洋工学[流体](船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動)、 29. 船舶海洋工学[構造](船体強度・振動、船舶設計・艤装)</p> <p>(注)8(流体力学[機械系])と10(土質力学・水理学)の同時選択不可。7(材料力学[機械系])と9(構造力学(土木)・土木材料・土木施工)と12(構造力学(建築))の3科目のうち、2科目又は3科目の同時選択不可。</p>	<p>選択問題 1題または2題 次の29科目から出題 解答題数 ア. 1(建築設計)又は2(都市設計)を選択する場合は、その1科目(1題)のみを選択解答 イ. ア以外の場合は、2科目から各1題、計2題を選択解答</p> <p>(注)2題以上出題される科目にあっては、そのうち1題のみ選択可。</p> <p>1. 建築設計①、2. 都市設計①、3. 計測工学①、4. 制御工学②、5. 情報工学(ハードウェア)①～②、6. 情報工学(ソフトウェア)①～②、 7. 電磁気学・電気回路①、8. 電気機器①、9. 電力工学①、 10. 電子工学①、11. 通信工学①、12. 信頼性工学①、 13. 材料力学(機械系)①、14. 機械力学①、 15. 流体力学(機械系)①、16. 熱力学・熱機関(機械系)①、 17. 航空工学①、18. 構造力学(土木)①、19. 土質力学①、 20. 水理学①、21. 土木計画③、22. 環境工学(土木)・衛生工学②、 23. 材料工学[材料科学](材料物理、材料化学)①～②、 24. 材料工学(金属材料)①～②、25. 材料工学(無機材料)①、 26. 原子力工学(原子核・放射線)①、 27. 原子力工学(原子炉・核燃料サイクル)①～②、 28. 船舶海洋工学(流体)[船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]①～②、 29. 船舶海洋工学(構造)[船体強度・振動、船舶設計・艤装]①～②</p> <p>(注1)13(材料力学[機械系])と18(構造力学(土木))の同時選択不可。15(流体力学[機械系])と20(水理学)の同時選択不可。21(土木計画)と22(環境工学(土木)・衛生工学)の同時選択不可。 (注2)1(建築設計)及び2(都市計画)は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン(図面及び論述)の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。</p>

(人事院 HP 平成 30 年度「国家公務員採用総合職試験(院卒者試験・大卒程度試験)受験案内」より抜粋)

(※)他の区分については、人事院のホームページ等で確認してください。

(※)受験する試験区分の決定は、上記専門科目を十分に検討のうえ、また他の併願職種での試験科目も考慮のうえ決定してください。不明な点等がありましたら、遠慮なくエクステンションセンターにご相談ください。

理系M0・M1対象短期パックのカリキュラム

■「理系 M0・M1 対象短期パック」年間スケジュール

4回生/M1							M1/M2						
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
①基礎能力試験対策(択一) 教養基礎、時事教養、数的処理・資料解釈、文章理解							国家総合職本試験開始	③総合職2次試験対策	官庁訪問(時期未発表)				
②専門試験対策(択一・記述) 工学の基礎、工学区分1upゼミ、国家総合職試験演習、国家総合職試験委員対策、各専門科目(2016年度講座WEB視聴)													
④公務員模試													
⑤受講生面談、学習相談会													
⑥人物試験対策講座 政策立案講義、CA懇談会、進路・就職ガイダンス、自己分析セミナー、自己PRワークショップ、公務員JAIによる集団討論練習会、公務員内定者懇談会、省庁・自治体研究の進め方セミナー、国家公務員OBOG懇談会、公務員受験ガイダンス、公務員合同業務説明会、集団討論実践練習会													

■ 国家公務員総合職合格コースのポイント

- 公務員試験対策には大きく「基礎能力試験対策」、「専門試験対策」、「面接試験対策」があります。筆記試験対策だけでなく、人物試験対策にもバランスよく取り組むことが本コースの特徴となっています。
- 国家公務員総合職試験の工学区分における1次試験(筆記/択一)の合格ラインは、大卒区分で「6割程度」、院卒区分では「4割弱程度」となっています。満点をとる必要はありませんので、必要なポイントを最小限の学習で身につける効率的な授業を展開します。

■「理系 MOM1 対象短期パック」の学習方針について

- このコースは正課の専門を十分に学習してきた方を対象とした最少パックの講座であり、講座を利用しつつ自学自習でしっかりと学習できることが前提となります。

① 基礎能力(教養)試験対策(択一)

《一般知識》教養基礎、時事教養 《一般知能》数的処理・資料解釈、文章理解

基礎能力試験は、国家公務員総合職を含むほぼ全ての公務員試験で課せられ、「一般知識分野」と「一般知能分野」に分かれます。「一般知識分野」は、これまで大学受験の勉強などで取り組んできた人文科学、社会科学、自然科学の各分野になります。広い範囲を学習することになりますが、**本講座では、出題数が多い「数的処理・資料解釈」と「文章理解」に重点を置いています。**また、一般知識は学習の方向性と重要部分を「教養基礎」で受講し、残りは基本的に自学自習および学習相談会を活用しながら学習することとなります(時事教養については重要性が高いことを踏まえて講義を行います)。

② 専門試験対策(択一・記述)

《共通専門》工学の基礎、工学区分1upゼミ、国家総合職試験演習
《試験対策》国家総合職試験委員対策(専門ごと)、各専門科目(2017年度講座WEB視聴)

専門科目については、**基礎科目となる「工学の基礎」と得点科目をまとめた「工学区分1UPゼミ」を開講**します。その他の専門科目については、皆さんがこれまで大学・大学院で学習してきたことをベースにしつつ、**2017年度講座のWEB無料視聴や過去問演習によるブラッシュアップ**を通じて合格力を養成していきます。

③ 国家総合職 2 次試験対策 ※2 次試験対策講座は 2019 年 4 月頃に別途募集

《政策論文》政策論文対策
《専門記述》信頼性工学、土木、建築、機械、電気電子、情報、化学（工学）、化学（化学・生物・薬学）

国家公務員総合職試験の 2 次試験は、記述式試験（政策課題論文/専門記述）と人物試験（面接）です。記述式試験については、専門講義を用意し、実践を交えながら試験直前の効率的な対策を講じます。人物試験（面接）は、本学教員やキャリアセンター職員が随時相談に乗ります。

④ 公務員模試

専門学校で全国模試を BKC 学内で実施します。積み重ねてきた知識をアウトプットする練習の場として、また試験直前期に自分の実力を確認し、最後の追い込みをかけるための機会として活用してください。公務員模試の詳細は、2018 年 12 月ごろに配布する募集要項にてお知らせします。

⑤ 受講生面談・学習相談会

国家公務員総合職コース受講生全員に年 2～3 回の面談を実施し、志望先や学習状況の進捗を確認します。また、公務員講座講師との学習相談会（窓口台帳予約制/無料）を用意。講義の中で理解が行き届かなかった箇所の質問や、試験対策の相談などに活用してください。

⑥ 人物試験対策講座

政策立案講義、CA（キャリアアドバイザー）懇談会、進路・就職ガイダンス、自己分析セミナー、自己 PR ワークショップ、公務員 JA（ジュニアアドバイザー）による集団討論練習会、公務員内定者懇談会、省庁・自治体研究の進め方セミナー、国家公務員 OBOG 懇談会、公務員受験ガイダンス、公務員合同業務説明会、集団討論実践練習会

本学公務員講座は筆記試験対策にとどまらず、近年の公務員採用試験で重視されている人物試験（面接試験や集団討論等）への対策を目的とした「人物試験対策講座」を開講しています。皆さんの合格力アップに向けて全力でサポートしますので、積極的に活用してください。詳細の日程等は別紙を参照してください。「人物試験対策講座」とは別に、学生が主体となり、グループで学習や志望先の研究等を行う「自主ゼミ」の仕組みも提供しています（別途案内）。

■国家総合職試験の過去問題の閲覧について

国家公務員総合職試験対策として、過去問題を繰り返し解くことは非常に重要です。本来、技術系の国家公務員試験の過去問題を入手するには、人事院へ資料開示請求を行っていただく必要がありますが、エクステンションセンターでは今まで独自に収集してきた過去問題（約 15 年分）を学生向けに公開しています。プリズムハウス 2 階の進路就職ライブラリーにて閲覧可能ですので、ぜひ活用してください（コピー可、持ち出し不可）。なお、国家公務員総合職と外務専門職を目指す方のみが入室できる専用自習室でも、同様の過去問題を閲覧することができます（自習室については本紙 P7 を参照）。

開講科目について

- 国家公務員総合職合格コース（理系 MO・M1 対象短期パック）は、国家公務員総合職試験の「工学」区分の試験に対応した講座を開講します。
- 一部の科目は、「国家公務員総合職合格コース」や「地方上級・国家公務員一般職合格コース」との合同授業となります。
- 地方上級・国家公務員一般職等、他の職種を併願する際は、本コースで開講されない受験科目については「地方上級・国家公務員一般職合格コース」の科目を受講してください。

科目名		備考	コマ数	受講料	一括受講の場合
教養科目	教養基礎		2	1,060	○
	数的処理・資料解釈		22	11,660	○
	文章理解		8	4,240	○
	時事教養	国家公務員総合職合格コース(技術系)、 地方上級・国家一般職合格コース(技術系)合同	12	6,360	○
専門科目	工学の基礎		18	9,540	○
	工学区分1upゼミ (工学基礎実験・基礎科学・情報基礎・技術論等)		16	8,480	○
	2016年度専門科目WEB無料視聴【専門】 (土木、建築、機械、電気・電子・情報、化学)	下記「専門科目WEB無料視聴一覧」参照	—	0	1科目選択
	2016年度専門科目WEB無料視聴【専門応用】 (土木応用、建築応用、機械応用、電気・電子応用、情報応用、化学(工学)応用)	下記「専門科目WEB無料視聴一覧」参照	—	0	1科目選択
試験対策	国家総合職試験演習		20	10,600	○
	国家総合職試験委員対策(土木)	国家公務員総合職合格コース(技術系)合同	4	2,120	1科目選択
	国家総合職試験委員対策 (建築、機械、電気・電子、情報、化学(工学))	国家公務員総合職合格コース(技術系)合同	2	1,060	
他	政策立案講義	国家総合職受講生共通(必須登録)	12	0	○

※ 全一括申込の内容は、上記表の右欄「一括受講の場合」を参考にしてください。

■専門科目 WEB 無料視聴一覧

本コース受講生は、過年度（2017年度）公務員講座国家公務員総合職合格コース（技術系）の専門科目を無料で視聴することができます。講師と相談の上で必要な部分を閲覧し、専門科目の学習に活用してください。

科目名	対象(所属研究科・学科)	備考	コマ数
土木	都市システム工学科	2017年度国家総合職合格コースと地方上級・国家一般職合格コース共通科目 ※12コマまで[専門]機械と合同	46
土木応用	環境システム工学科	2017年度国家総合職合格コース科目	18
建築	建築都市デザイン学科	2017年度国家総合職合格コースと地方上級・国家一般職合格コース共通科目	36
建築応用		2017年度国家総合職合格コース科目	12
機械	機械システム系 物理科学科	2017年度国家総合職合格コースと地方上級・国家一般職合格コース共通科目 ※12コマまで[専門]土木と合同	32
機械応用		2017年度国家総合職合格コース科目	4
電気・電子・情報	電子システム系 情報理工学部 生命情報学科 物理科学科	2017年度国家総合職合格コースと地方上級・国家一般職合格コース共通科目	24
電気・電子応用	電子システム系 物理科学科	2017年度国家総合職合格コース科目	12
情報応用	情報理工学部 生命情報学科	2017年度国家総合職合格コース科目	12
化学	生命科学部 (応用化学科等)	2017年度国家総合職合格コースと地方上級・国家一般職合格コース共通科目	36
化学応用(工学)	生命科学部 (応用化学科等)	2017年度国家総合職合格コース科目	12
【物理系学生用】 機械+電気・電子	数学物理系	2017年度国家総合職合格コース科目 ※23コマは「機械」と合同、14コマは「電気・電子・情報」と合同 ※応用科目については、「機械応用」「電気・電子応用」のどちらかを選択すること	37

エクステンションセンター公務員講座が選ばれる理由



Point

抜群の合格実績

エクステンションセンター公務員講座受講生は様々な公務員試験において、高い実績をあげています。

〈2017年度立命館大学合格実績（一部抜粋）〉

国家公務員総合職 36名（全国 15位）/国家公務員一般職 173名

外務省専門職 2名/裁判所職員総合職 3名/裁判所職員一般職 21名/国税専門官 88名/

財務専門官 13名/労働基準監督官 18名/法務省専門職 5名/京都府 18名/京都市 45名/

大阪府 10名/兵庫県 3名/神戸市 10名



Point

立命館学生のための専用プログラム

- 正課の授業が終わってから、そのままキャンパス内で講座を受けることができるため、通学による時間のロスや交通費負担もありません。
- 大学の授業時間や定期試験に配慮したカリキュラムとなっていますので、正課授業と両立して学習を進めることができます。



Point

洗練されたカリキュラム

- すべての試験科目を網羅的に学習するのではなく、公務員試験合格に必要な知識・力量を短期間で効果的に修得できるカリキュラム内容となっています。
- オプション科目（無料）として「人物試験対策講座」を用意しておりますので、面接や集団討論などの人物試験への対策も万全です。



Point

快適な学習環境の場を提供

- 欠席時や復習時にはWeb上にて無料で講義視聴が可能！大学の授業の合間や自宅で学習を進めることもできます（ただし、Webフォローはあくまで補助教材ですので、可能な限りライブで受講してください）。
- 国家公務員総合職合格コース、ならびに外務省専門職講座の受講生に対しては、個別学習机やPCルーム、ミーティング室などを備えた自習室（有料/選抜制）を用意し、学習に集中できる環境を提供しています。



Point

安心して受講できる価格設定

- 一般の専門学校等の受講価格より安価（7割程度）に設定し、みなさんの金銭的負担の軽減をはかります。
- 特定の科目だけを選択して受講する「単科受講」も可能ですので、個別の学習状況に応じて柔軟に講座を活用することができます。



Point

内定者・OBOGの強力サポート

- 公務員試験に合格し、進路を決定した先輩が、JA（ジュニア・アドバイザー）として受験相談に乗ります。
- 年に数回、大学内でOB・OG懇談会を実施します。様々な役所や自治体で働く先輩方の話を聞くことで、公務員の業務理解や、学習のモチベーションUPにつなげることができます。



Point

充実の奨学金制度

- エクステンションセンター特別奨励生制度
⇒国家公務員総合職・外務省専門職志望者を対象に、選考試験で優秀な成績をおさめた学生の講座受講料を減免（または相当額を支給）する制度です。毎年多くの学生が、経済的負担を抑え公務員講座を受講しています。詳細は本紙P9ならびに、エクステンションセンター特別奨励生募集要項を確認してください。
- 立命館大学西園寺記念奨学金（難関試験合格者枠）
⇒立命館大学（大学院）在籍中に、難関資格試験に合格した方に給付されます（条件等の詳細は、12月ごろに配布する募集要項を確認してください）。

講座を受講するにあたって

1. 講座日程について

エクステンションセンター公務員講座は、以下の時間帯での開講を原則としています。

- ・ Semester 授業期間中 [平日] 18:00~21:10 [土曜日] 11:00~16:40 または 10:30~17:50
- ・ 長期休暇中/試験期間中 [平日・土曜日] 11:00~16:40 または 10:30~17:50

※一部例外等もありますので、詳細は、エクステンションセンターHP等の日程表を確認してください。

2. テキストについて

講座で使用するテキストは、募集要項とともに配布している「シラバス」内に掲載しています（シラバスは Web 申込ページでも確認することができます）。講座で使用するテキスト料金は、講座受講料に含まれておりませんので、別途、購入していただきます。

※テキストは生協（BKC/リンクショップ）にて販売します（生協組合員証を必ず提示してください）。

※同一科目名でも、キャンパス・受講コース・講師により使用テキストは異なります。必ずシラバスで確認のうえ、講義が始まるまでに購入してください。

※販売は、各科目の講義開始日約 2 週間前から開始します。販売期間が過ぎたものに関しては、カウンターでの注文になりますので、早めに購入してください。

※講義開始後では生協にテキストの在庫が無くなり、注文に時間がかかることがあります。早めに購入してください。

※改訂版が出版された場合には、開講時点での最新版を使用します。

3. 講座の Web 配信について

欠席時や復習の際、再度講座を視聴したい方のために、Web 上での講座配信サービスを行なっています。詳細については、講座 Web 配信システム (<https://extensionweb.ritsumeai.ac.jp/>) 上にあるマニュアルを確認し、利用してください。

「立命館大学 エクステンションセンターHP」

→ 講座申込・動画配信 「動画配信」ボタンをクリック

→ マニュアル（動画視聴）※ログイン画面下

※講座配信はあくまで補助ツールですので、受講にあたってはライブ講座（教室での講座）への出席を心がけてください。

※機材のトラブル等により収録できなかった時、また画質・音質等に不具合が生じた時、視聴ができない場合や視聴しづらい場合がありますので、予めご了承ください。

※システムメンテナンスの都合上、配信を随時停止することがあります。その場合、事前に講座 Web 配信システムのトップページの「お知らせ」部分へ通知しますので、「お知らせ」を常にご確認ください。

※すでに講義が終了しているものから随時配信していきます。事前の視聴はできません。

※配信日は講義終了の翌々営業日（お昼ごろ）となります。

「2017年度国家公務員総合職合格コース」のWeb 動画・レジュメ等の配信は2019年9月30日（月）をもって終了とします。

4. 専用自習室の使用について

国家公務員総合職講座・外務省専門職講座受講生限定で、個別学習机や PC ルーム・ミーティング室を備えた自習室（選抜制/有料）を準備し、学習に集中できる環境を提供しています。

〔場 所〕 アクロスウィング5F 座席数 26 席

〔環 境〕 個別学習デスク、個人ロッカー、PC（資料）ルーム、ミーティングルーム、各種情報誌（公務員受験ジャーナル、日経ビジネス、東洋経済）等

※第3期入室は 12 月ごろを予定しています。選考試験や料金などの詳細は、2018年 11 月に配布予定の募集要項にてお知らせします。

5. 注意事項

(1) 受講資格について

- ・ エクステンション講座の受講対象は立命館大学生・院生・卒業生・修了生・校友・APU からの交流学生（セメスター単位もしくは1年単位での交流学生に限る）です。
- ・ 非正規生は原則として受講できません（本学卒業・修了後に非正規生として在籍している方は、本学卒業生、修了生として受講できます）。
- ・ 留学中、休学中、停学中、退学・除籍の方も受講できません。ただし、留学中の場合であっても本学と学生交換協定を締結している大学への派遣（留学）の場合、派遣前後の本学に通学できる期間は受講することができます。

(2) 受講ルール

- ・ エクステンション講座を受講する際には必ず「受講証」を机の上に提示してください。
- ・ 受講証は原則として再発行いたしませんので、ご注意ください。
- ・ 受講生は講座の円滑な運営にご協力ください。

(3) 禁止事項

- ・ いかなる場合も受講生が受講証を他人へ貸与・譲渡することはできません。
- ・ エクステンション講座で使用するテキスト・教材・講座・Web 配信等の複製及び第三者への提供を禁止します。
- ・ 講義の録音・録画・撮影を禁止します。
- ・ 受講生が講座運営の妨げ及び他の受講生の妨げとなる行為は禁止します。
- ・ 受講申込をしていない者及び受講生が登録外のエクステンション講座を受講することを禁止します。

(4) 指導及び利用の停止について

- ・ 受講規則、不正受講等その他運用ルールに違反した者に対し、指導を行います。
- ・ エクステンションセンターによる指導にもかかわらず、受講生の行動に改善が見られない時には、受講契約を解除する場合があります。

(5) 教室変更・日程変更などの連絡事項について

- ・ エクステンションセンターから受講生への日程変更、休講等のお知らせは、下記のエクステンションセンターのHPとメール配信にて行いますので、日頃から確認するように心がけてください。

立命館大学ホームページ

→「エクステンションセンターホームページ」

→■訪問者別メニュー 「受講生の方」

(6) 欠席した場合

- ・ 当日の講義内容・連絡事項・次回準備物等を記載した講義終了レポートを講座 Web 配信システムに掲載しますので、各自ご確認ください。
- ・ 講座以外では、原則レジュメ・資料の配布はいたしません。エクステンション Web（動画配信ページ）上から、各自印刷してください。
- ・ 別途配布するものがある場合、講座内で案内します。受け取りの際は、必ず「受講証」を持参ください。

(7) 受講取り消し／受講料の返金について

エクステンションセンターが開講する講座の受講申込は、当該学生の学習計画や受講目的、受講意識などを窓口等で確認した上で受付を行っていることから、原則として開講後の取り消しは受け付けません。やむを得ない事情により、取り消し・解約の申し出があった場合は、窓口で相談を行った上で、エクステンションセンターが定める内規に従い認めることとします。なお、受講取り消し・解約が認められた場合は、申し出た翌日を起算日として、未受講分の受講料を返金します。講座運営の妨げとなる行為や迷惑行為、他の受講生への妨害行為などのため、エクステンションセンターから受講登録の取り消し・解約処分を受けた場合、受講料は返金しません。

講座受講料が減免される！！ エクステンションセンター特別奨励生制度について

- 立命館大学では国家公務員総合職試験などの難関試験を受験する学生を応援するために「特別奨励生制度」を設けています。
- エクステンションセンター公務員講座「理系MOM1対象短期パック」も「特別奨励生」の対象講座となっています。
- 本奨励生に採用された学生は講座受講料の減免がされます！
(53,000～54,060円程度)

採用基準について（詳細条件は特別奨励生募集要項を参照）

3種類の採用があり、それぞれ募集期間や条件が異なります！

- ①過去の国家公務員総合職試験の1次合格もしくは最終合格者
【募集期間】2018年9月20日（木）～9月28日（金）
- ②学科で優秀な成績を修めた人（GPA3.5以上）
【募集期間】2018年9月25日（火）～10月9日（火）
- ③特別奨励生筆記試験（10/12実施）で優秀な成績を修めた人
【募集期間】2018年10月2日（火）～10月12日（金）

応募方法について

まずは「理系MOM1対象短期パック」のガイダンスに参加して、
募集要項を手に入れよう！（ガイダンス日程は裏面を参照）
※募集要項はBKCEクステンションセンター窓口でも入手可能です

国家公務員総合職試験に
最終合格すると、
こんな特典もあります！

立命館大学西園寺記念奨学金（難関試験合格者枠）

立命館大学（大学院）在籍中に、難関資格試験に合格した方に給付されます
（条件等の詳細は、12月ごろに配布する募集要項にて発表予定）。

★興味のある方はエクステンションセンターまでお問い合わせください！！ [立命館大学エクステンションセンター](#)

申込のステップ

Step 1	仮申込	エクステンションセンターHPから申込 (https://challenge.ritsumeai.ac.jp/)
Step 2	『申込書』の印刷	A4サイズに印刷
Step 3	入金	郵便局で振込 (ゆうちょ銀行のキャッシュカードがあれば、ゆうちょ銀行ATMでも可) ※入金方法の詳細は、『申込書』をご覧ください。 ※銀行からの振込は受け付けておりませんのでご注意ください。
Step 4	本申込	『申込書』と『学生カード』をエクステンションセンター窓口へ提出 ※『申込書』に『郵便振替払込金受領書』 or 『ご利用明細書』を貼付する。
Step 5	受付完了	『受講証』を受領
Step 6	受講準備	テキスト・持ち物の準備 (募集要項を確認)

注) 『Step 5』をもって申込完了になります。
申込期間内に申込書を提出しない場合、仮申込をキャンセルさせていただきます。

<窓口時間について>

【エクステンションセンター】 問い合わせ先：キャリアセンター
(BKC: プリズムハウス2階)
<http://www.ritsumeai.ac.jp/extension/>

BKC: TEL(077)561-3942 / FAX(077)561-3959 〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1

期 間	窓口時間	休憩時間
	月～金 ※1	
セミスタ-授業期間中	9:30～17:00	11:30～12:30
長期休暇中/試験期間中	9:30～17:00	

※1. 土曜・日曜・大学が定める休業日は閉室します。

毎週水曜日は業務会議のため、休憩時間終了後に窓口業務を開始します。

※2. その他、窓口時間に変更がある場合は、エクステンションセンターの掲示板やHPにてお知らせします。